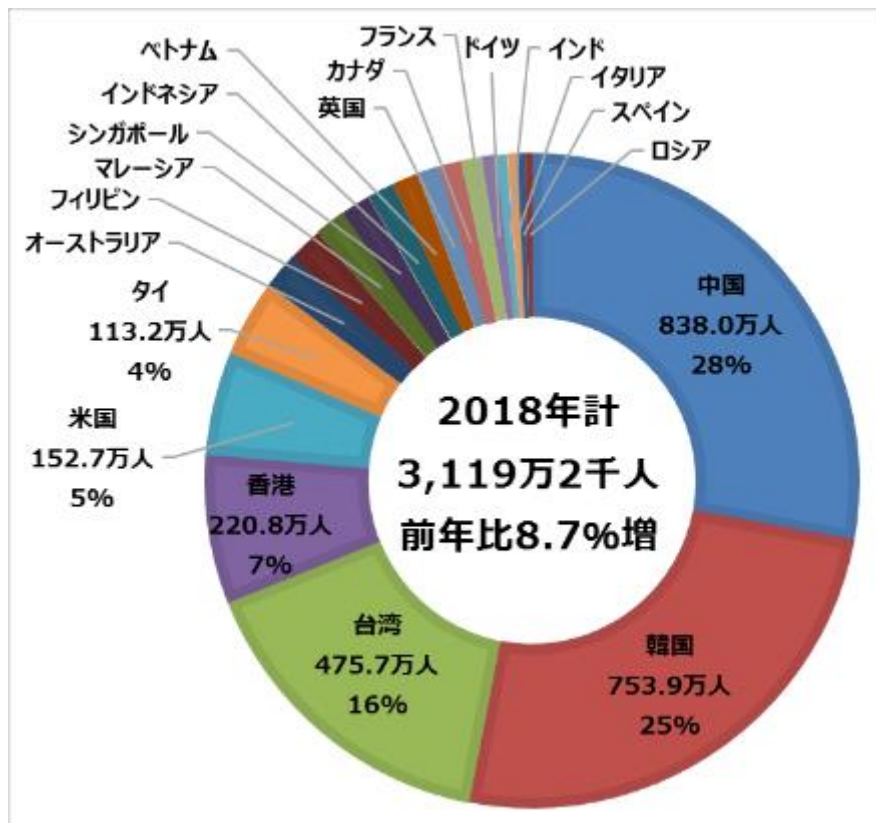


## タイでの日本旅行の情報収集方法は？タイのアウンスタッフに聞いてみた

### タイ市場概況

2018年、タイからの訪日者総数は、前年比14.3%増の113万人<sup>\*1</sup>です。すべての国・地域別では米国に次いで6位です。東南アジア諸国市場では初めて、100万人の大台を突破しました。

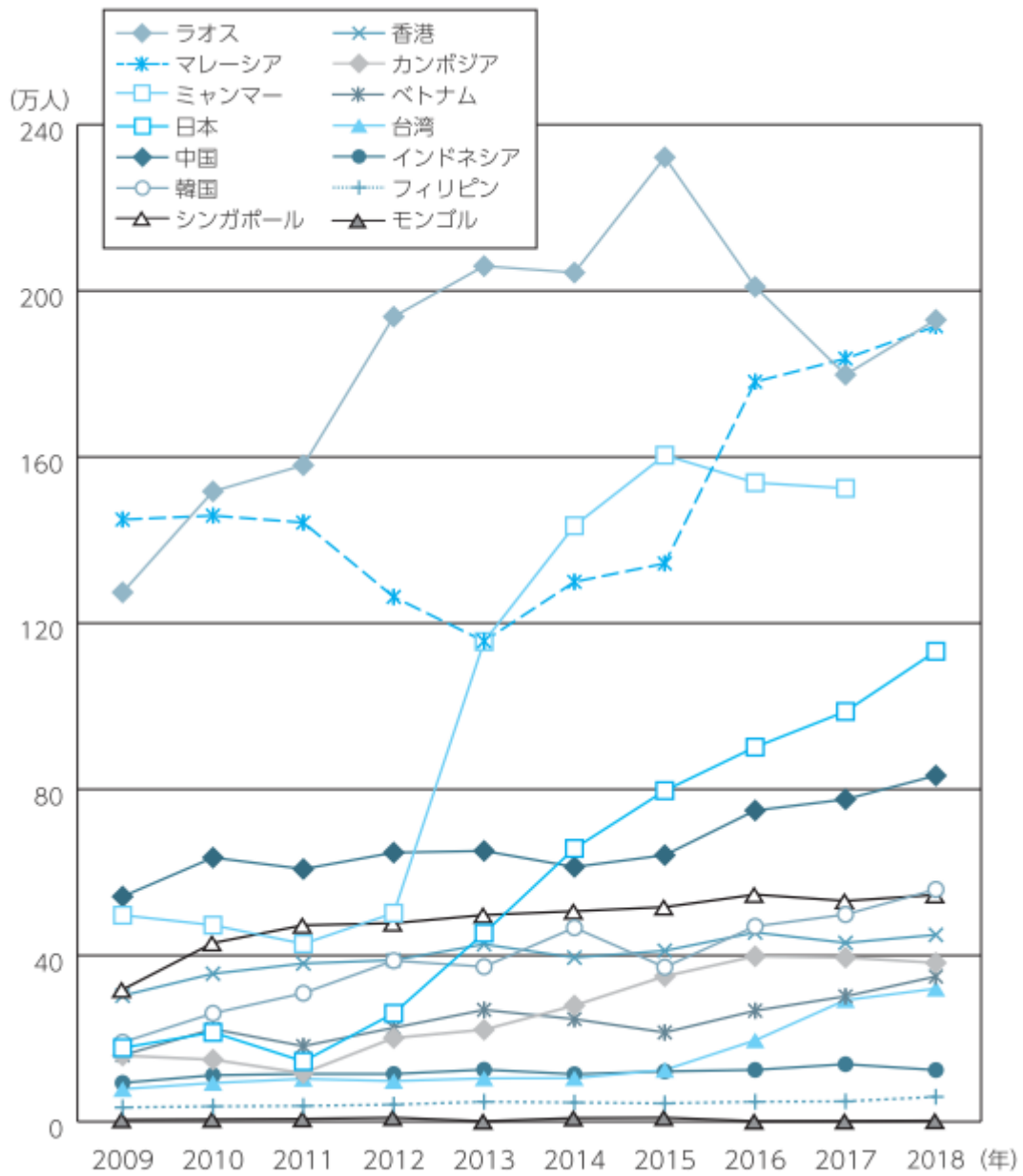
グラフ1：2018年 訪日外国人数 国・地域別シェア



※日本政府観光局 (JNTO) 2018年 年間訪日外国人数<sup>\*2</sup>より

2016年10月の国王崩御に伴い、2017年10月までは服喪期間のため、海外旅行を控える人も多く、2017年のみ訪日者伸び率は9.5%と一桁台にとどまりましたが、それ以外の年は2013年の訪日短期滞在のビザ免除以降、格安航空会社 (LCC) 就航数の増加も相次ぎ、右肩上がりの成長が続いています。タイからアジアの各国・地域への訪問者数の推移をみても、海外旅行先の1位～3位は近隣のマレーシアやオーストラリア、ミャンマーですが、東アジアでは日本の伸びが顕著です。

グラフ2：アジア各国・地域へのタイ人訪問者数の推移(2009年～2018年)

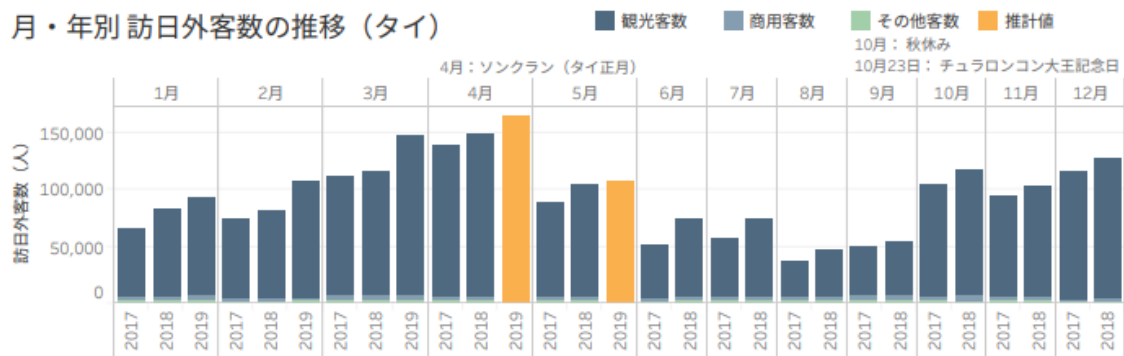


※JNTO 訪日旅行データハンドブック 2019年(世界20市場)<sup>\*3</sup>より

タイのお正月ソンクラーンのある4月が、毎年訪日旅行のピークです。年間を通して温かい気候のため、タイ人には珍しい、日本の春の桜や秋の紅葉、冬の雪を楽しめる旅行先が人気です。

グラフ3：月・年別訪日外客数の推移 タイ

## 月・年別 訪日外客数の推移 (タイ)



※日本政府観光局 (JNTO)データ\*1より

### 日本旅行するときに参照するサイト

バンコクのアウンスタッフに、日本へ旅行する際、どのようにオンラインで情報収集をするのか、アンケートをとり、情報収集する項目として以下の4つを質問しました。

- ・観光地を探すとき
- ・航空券を探すとき
- ・ホテルを探すとき
- ・レストランを探すとき

特定のウェブサイトを教えてほしいとアンケート設問を作り、他の拠点からは、有名なトラベルブロッガーや訪日メディアの情報が集まったのですが、バンコクアウンスタッフからのアンケート回答は、なかなか衝撃的でした。なんと、6割以上のスタッフから「これといって特定のサイトはありません。都度 Google 検索します。」という回答が返ってきたのです。

タイ人気質を表す言葉として、「マイペンライ」という、気にしないや大丈夫を意味する言葉が知られているのですが、今回のアンケートでも、タイ人のおおらかさを再確認した気がします。

### 日本の観光地情報

特に、観光地を探すときは、「都度 Google 検索」派が圧倒的でした。2位の Pantip もタイを代表する巨大な掲示板サイトで、訪日旅行に限らず、なにか情報がほしいときに、タイの人なら必ずと言っていいほど訪れるサイトです。3位以下は、のんびり、おらかなタイのみんな、大好きだけど、「本当に、本当に参照する特定のサイトは1つも思いつきませんか？」と再確認し、数人のスタッフに絞り出してもらった、少数意見となります。

- 1位 都度 Google 検索
- 2位 [Pantip](#)
- 3位 [Japan Guide](#)

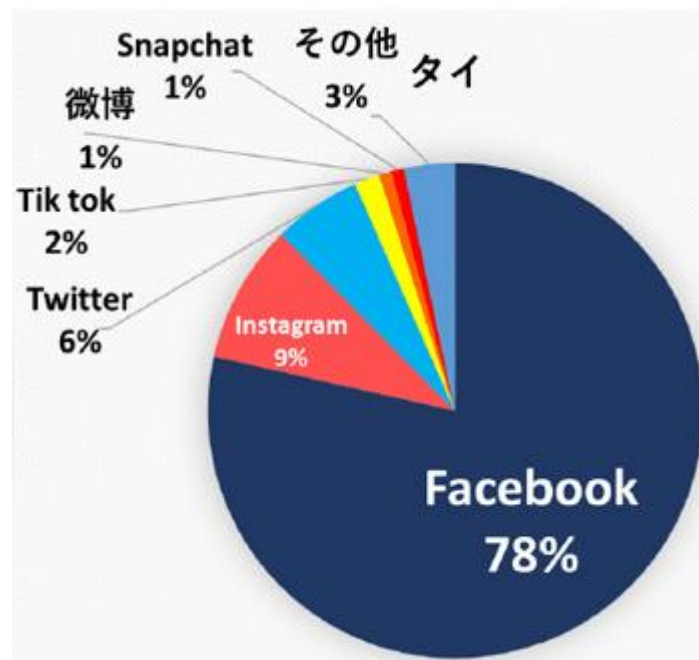
4 位 [JapanKakkoi.com](http://JapanKakkoi.com) / [Klook](http://Klook)

5 位 Facebook : [กลุ่มคนชอบตะลอนเที่ยวญี่ปุ่น](#) (日本をブラブラ旅行する人たち) / [Voyagin](http://Voyagin)

3 位の Japan Guide は、言わずと知れた英語訪日メディアの老舗サイト。英語もわかるタイ人スタッフに支持されています。

4 位は同率でタイの訪日メディア「JapanKakkoi.com」と、香港をベースとするアジア最大の現地ツアー予約サイト Klook がランクインしました。Klook は 2019 年に日本でもサービスを開始しています。

5 位は TalonJapan というタイの訪日メディア、ではなく、その Facebook の 1 グループが入りました。タイでは Facebook の利用率が高く、2018 年 12 月の弊社調査\*4 でも 8 割近くが利用しています。そして、同率 5 位に日本の現地ツアー予約サイト Voyagin が入りました。タイ語は未対応ですが、英語と日本語もわかるスタッフもいるので、日本の現地ツアーや観光地のチケット購入に利用しているようです。



※アウンコンサルティング 2018 年調査\*4 より

#### 航空券購入

航空券サーチでも Google が大人気ですが、ここでは Pantip をあげるスタッフはいませんでした。

2 位の Expedia.co.th は、「航空券とホテルが同時に予約でき、ポイントが貯まる」「販促キャンペーンが多い」点が評価されています。

3 位は、オランダに本社をおき、世界 39 カ国で 5 つの旅行ウェブサイトブランドを展開している Travix のタイ語サイト CheapTickets.co.th です。

4 位には同率で、LCC の雄、マレーシアのエアアジアと、インドネシアのユニコーン会社 Traveloka が並び、

まさに東南アジアのトラベルプラットフォーム下剋上を表しているようです。5 位にはタイのナショナル・フラッグ・キャリアー、タイ国際航空がランクインしました。

- 1 位 都度 Google 検索
- 2 位 [Expedia.co.th](https://www.expedia.co.th)
- 3 位 [CheapTickets.co.th](https://www.cheaptickets.co.th)
- 4 位 [AirAsia](https://www.airasia.com) / [Traveloka](https://www.traveloka.com)
- 5 位 [Thai Airways](https://www.thaiairways.com)

#### ホテル選び

ホテル選びも航空券と同じく、Pantip をあげるスタッフはいませんでした。1 位は都度 Google 検索、2 位は Aogda、3 位 Expedia と日本でも有名なグローバル・サービスが上位を占めるなか、オーストラリア本社の HotelsCombined が 4 位でした。上位に入った Agoda や Expedia をはじめ、Hotels.com、Booking.com など数多くのホテル検索サイトを一括表示でき、「価格や空き室状況が比べやすい」と人気です。HotelsCombined はタイ語、日本語を含む 42 の言語に対応しています。

#### レストラン選び

レストラン選びでも「何か食べたいものがあったら Google 検索して、観光している近くのお店で食べます」や、「レストランは検索しないよ。歩いていてサバーイ(快適な、などの意味のタイ語)そうなお店に入るから」など。「マイペンライ」な人が多いタイ人。

2 位 Pantip や 3 位、観光地選びでも登場した Facebook 訪日旅行愛好家グループなどに数多く投稿されている口コミで、おすすめレストランや、その店で食べるべきメニュー、避けたほうがいい料理を参考にするそうです。

同率 4 位は、日本の食べログ(英語)と、香港やシンガポールなど、主にタイ周辺の東南アジアがメインに、日本旅行の記事もあるバンコクのトラベルブロッガー UncleDeng.com があがりました。

日本語、タイ語や外国人にも読みやすい「やさしい日本語」など 10 言語で情報発信している日本の WEB マガジン MATCHA が 5 位です。

- 1 位 都度 Google 検索
- 2 位 [Pantip](https://www.pantip.com)
- 3 位 Facebook : [กลุ่มคนชอบตะลอนเที่ยวญี่ปุ่น](https://www.facebook.com/groups/thai-japan-travelers) (日本をブラブラ旅行する人たち)
- 4 位 [Tabelog](https://tabelog.com) / [UncleDeng.com](https://www.uncledeng.com)
- 5 位 [MATCHA](https://www.matcha.jp)

タイ国内の Google 検索 SEO 対策をしっかりと行い、上位表示を目指すことと、行きあたりばったりな人も多いタイ人対策には、訪日後のアプローチや実店舗での対応も重要そうです。

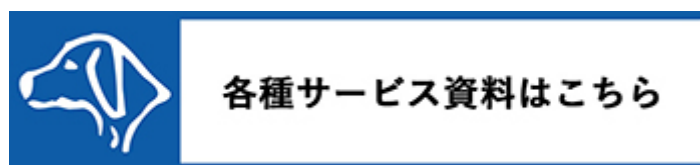
今回、アンケート回答にあった Facebook グループには、今日も名古屋のなばなの里イルミネーションや、海鮮居酒屋「磯丸水産」のかに料理、北海道・旭川の雪景色など、日本各地の観光地の風景が投稿されています。実際に訪れてくれたお客様をしっかりとおもてなした上で、SNS でのシェアを促進するユーザー生成コンテンツ(UGC)対策も有効でしょう。また、Facebook 広告は「好きなものと趣味・関心」で絞り込み広告表示できます。

#### 参照

- \*1 日本政府観光局 (JNTO) [世界の市場別基礎情報 タイ](#)
- \*2 日本政府観光局 (JNTO) [2018 年 年間訪日外国人数](#)
- \*3 [JNTO 訪日旅行データハンドブック 2019 年\(世界 20 市場\)](#)
- \*4 [アウンコンサルティング 台湾・タイの Web 広告に関する意識調査](#)

アウンコンサルティング株式会社は、アジア各国に 9 拠点をかまえ、お客様のインバウンド事業、アウトバウンド事業をサポートするグローバルコンサルティングを提供しています。また、アジアにおいていち早く SEO を事業化し、2019 年 6 月より 22 期目を迎え、豊富なノウハウを保持しております。

▼インバウンドまたはアウトバウンドに関する資料はこちらから無料でダウンロード！



↑ URL : <http://www.auncon.co.jp/service/download.html>